

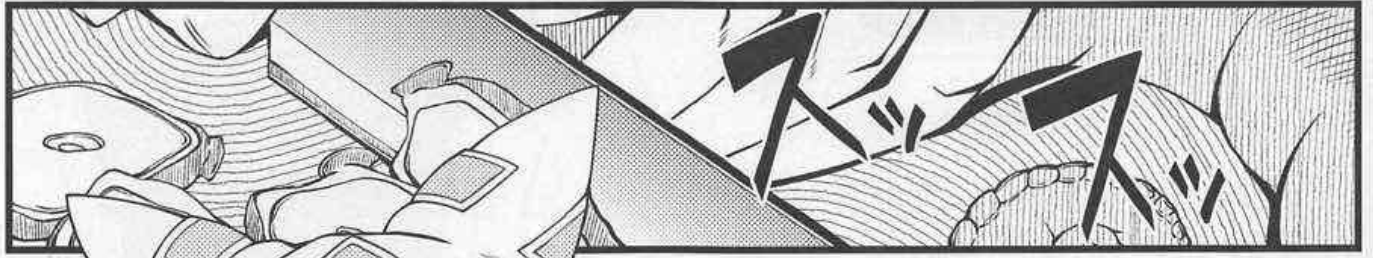
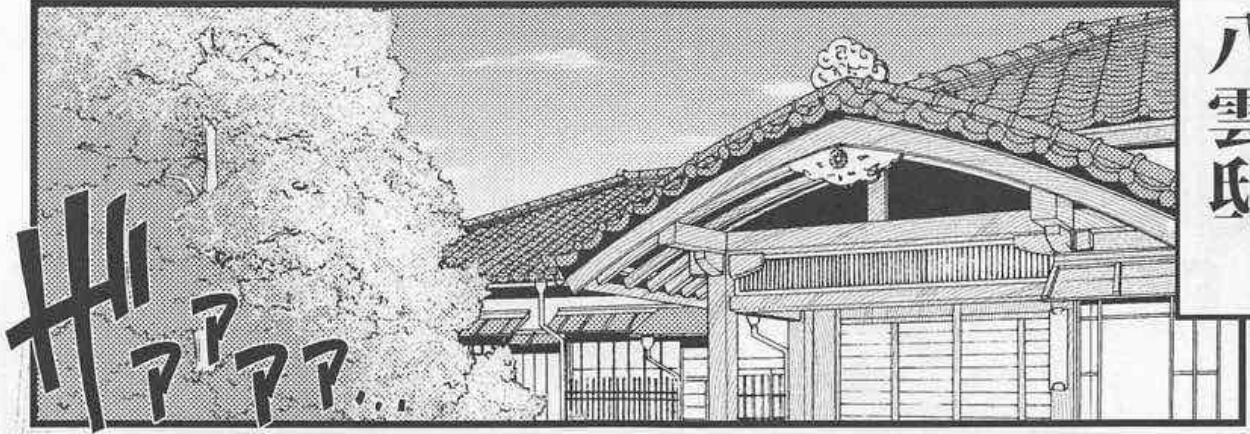
R-18 For Adult Only



おしおき・すきらん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本

八雲邸



おい！
来客用の大皿持って
きてくれるか？
また落とすなよー！

はいー！
ただいまー！

トトト
トトト

うわー
カサカサ

カサカサ

あせあせ

あ……

あのっ……！
これはっ……！

まさかとは思うが……
お前……

はあ……
呆れて声も出んわ……



お前な…

一度ならず何枚も、何枚も……
この落とし前
どう付けるつもりだ……？

ええ？

これは少し……
ここらでお仕置きが
必要だよなあ……？

せわっ



んらっ

んんん



あ……

うああ……

—ふむ……
前とは趣向を変えて
違う姿に見よう見まねで
化けては見たが……

モユル……

—このような姿もまた
楽しいモノじゃあないか？
ええ小僧？



大蛇の姿も良かったが
この姿もなかなかじゃないか
九本も触腕があると
捕えるのも簡単だしな

しかし妖力の溜まった
尻尾を礎に変化させたせいか
少々統制が曖昧なのが
気になるが……まあよい

あせ

あせ

あう……

さて
この阿呆を
どうしたものか……♡

あわわわわ……

きゅっ

きゅるっ

あーっ!?
もりてっ

んー？

あせ



これからするのは
お仕置きだと
言っているのに
お前は何故愉しげな声を
上げているんだ？

いやっ…！
あのっ違っ…！



お前は血を割った
罪悪感もなく
ただ自分の欲望のままに
行動することしか
出来ないのか？

ひっ…ひいっ…！



ふふっ…♡
これまたいい声で
鳴くじゃあないか…
しかしやけに体が疼くのは
この姿のせいかな…？



うあっ…！

う…はあっ…！

うむ……
お前がこんな調子では
どんなに厳しい
仕置きだろうが
意味がないな

これは一つ
お灸をすえる前に
お前の色情を
晴らしてやらんとなるまい？
そうだろう？

なっ！何を……！

はあ……はあ……

ねっ



ビュッ

お前は黙っている……
お前が止めてと
泣き叫んでも止めてはやらん

お前の情欲が根切れるまで
抜き取って
搾り取ってやろう♡

すこしつまむくらい……な♡
味見、味見……♡



ビュッ

キゅん♡



しゃるる

ふあああああつ！

どうだ？
ふわふわさらさらと
心地よいか……？

ハハハハ

ハハハハ

何……っ？
何これえっ……！



万年磨き上げた自慢の毛並だ
そんじよそこらの
半獣妖怪ごときの毛並とは
格が違うだろう？

そして絡みつく柔軟な筋肉による
先の読めない責苦の合わせ技だ……
そう味わるものではない
良かったじゃあないか、小僧？

きゅん
わん

しりり
るる

しりり
るる

ん？もう果てそうなのか？
もう少し気を張ったらどうだ

この程度で果ててしまうと
後がっらいぞ？



そっそんなこと
言ったってええええ



あーあーあー

キーン

まず1発♡

はは
……
っっっ!!



はっ!? はっ!



あーあーあー

まっ



まって！待ってえっ



あーあーあー

うっあっうっ……!!



な…なんでやめて
くれないのおおお!

えくっ…

言っただろうが
泣き叫んでも
やめてやらんと……

あふっ…!

んあっ!

お前の情欲が
根気れるまで
抜き取ってやると

んぎっ!

あっあっ!



ほーれほーれ
まだ出るだろうが

まだまだ
残っているようだぞ?

ひいっ



む





おや？
もう打ち止めか？

はっ
はっ！！

本当に全て吐き出したのかあ？
お前は信用ならないからなあ♡

どれ



びんびん
びんびん

どろどろ
どろどろ



づづ……づづづづづづづづ……

ずず

ちゅる



ふーん……
見た感じは確かに
出し切ったようだなあ？



は

しかし念には念をだ
十力まで残らず
吸いだしてやろうぞ……♡

これで間違いない
出し尽くしたなま〜♡



甘露甘露♡

さて……
お前の劣情も
晴れたことだし

これでようやく
悔悛の情に
心を打ちこめるな？



と
ちゅ

く……う……う……



その部屋はな、
視界など一切効かぬ
真っ暗な場所
酷く酸っぱい白気が充満し……

むせ返る熱気と湿度……
火傷しそうなほど熱い粘液が
吹き出し、込み上げ、
全身に絡み付いてくるぞ

いくら出せと泣き叫んでも、外に声は届かん
お前の耳にはずるずる、にちゃにちゃと体をこする
粘ついた音が響く、ただそれだけだ

そんなことは気にも留めず
部屋は意志を持ったように流動し
お前の意志などお構いなしに
体を弄び、全身を締め上げるだろう

もがこうが、喘こうが
何をしようが
動きが緩むことはないぞ

まあ……
そんな場所だな♡



そ……それって……



お前はこれから……
そうだなま……
お仕置部屋とでも呼ぼうか？
そこで暫く反省してもらおう

ニヤァ

そうだ♡

私の体^ナ内^カで
もがき苦しみながら
しっかり反省しろ♡





あ……

フフ……
お前の肉体が肉を掻き分けて
入ってくるのが解るぞ♡

全てはお前が撒いた種だからな？
甘んじて罰を受け入れる♡
じつくり全身紙りつくして
呑み込んで、ねっとり包み込んで……
—めちやくちやにしてやるぞ♡



あつ

おいおい、
引き裂いてしまっ
仕置きにならんぞ
どっちから呑み込
ホレ、どちらかが折れる



ははは

もぢゅ

もぢゅ



あらあら…ふふ…
まだ入り口だというのに
ずいぶん堪えている
ようじゃないか？

づっ……はあっ……

ふあっ…！
はっ…はっ…！



ずる…



そんな調子では
これから……

もっ…もっっ…！
お皿は割りませんからっ！
悪いことも二度と
しませんっ！

だからっ…

だがらっ！
食べないでくださいっ…！



……



だーめ♡



やだあ……

ズル
ズル
ズル

かたかた
かたかた

びびり
びびり
びびり

んふ……♡
何にもできずに全身吞まれて
しまったなあ？ええ？

だがしかし
反省の色を
見せるのは良い兆候だ

焦って必死に
なっちゃって……♡
可愛げあるじゃない♡

ほれもつと声をはれ
全然外に聞こえんぞー♡

ん？
なにか言ったかあ？
全く聞こえんなあ♡
これじゃあ永久に
外に出してやれそうに
ないじゃないか♡

はぁん
なまきん
はぁん
なまきん
はぁん
なまきん

おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん
おきゅん

おや？
今度はだんまりか？

ナカでびくびく
震えおって……
ほーら
さっさと続けなにか

閉じ込めておく、とだけ
先ほどは言ったが
反省の色が見え無いようなら
すぐにもみくちゃに揉みほぐして
粥みたいに溶かしてしまおうぞ♡

もぞっ

もぞっ

ほらっ！
もつとだッ……！
泣き叫べ！

全身をつかかってっ
暴れてみせる……！
んふっ♡

そうだっ……！んっ……♡
イイぞお……っ！
お前もやれば……はっ……♡
できるじゃあないか？

あはあっ♡

いぢぢ
溶かめっ！
にぢぢ

ナカで暴れて……
擦れて……♡
癖になりそう……♡

これっ……♡
ならっ……はあっ……♡

出してやること……もっ♡
考えて……んう♡……やってもっ……
いいかもなあっ……♡はあっ♡

まじゅおっ♡
まじゅおっ♡
まじゅおっ♡

ぢぢぢ
ぢぢぢ
ぢぢぢ



はあっ……
はっ……はっ……
はっ……フフ……♡

お前を溶かすのは……
努力に免じて……はあっ……
勘弁してやろう……♡

だがな……ふうっ……
ここから出してやるとは
言っとらんぞ？
まだ到底お前が反省したとは思えんからな♡

しっかり自分の行いを
悔いるまでは
1夜でも1週間でも
1年でも……フフ……♡

たとえ私が
この姿から元に戻ったとしても
お前を小指ほどに変えて
そのまま腹の中で弄り続けてやる♡

私が許すまで
永久に腹の中で
もがき続けている……♡

走
ゆる
走
ゆる



The Next is
GUEST'S
PAGES.

おしおき・すきん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本

なるほど
創作神話か

こんなものまで
読むとは
読書熱心なのだね



しかし三つの魚の眼、
丸い胴体と蟹の鋏
おまけに長い鼻だと？

お前の想像力は
いささか豊か失礼
過ぎるようだな

なんだ腰を
抜かして

こうなることは
想像して
いなかったのか？

さて、
古の神へ供物を
捧げてもらおうか

恐怖！

監修 ティエリス様

©2015 角川

身体中に穴を開けて
体液を吸う、か

ふん、穴は一つで
十分だ

あとは
お前が勝手に
出してくれるからな





おしおき・すきん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本



ヒッ

ヒッ。

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ

ヒッ

物好きな人間だな お前は
まさか自分で 獣に喰われに来るとは

ここには 我が主が連れてくる以外に
時折 お前のような人間が
わざわざ"餌"になる為に こうして迷い込み
今からのお前のように
この牙に捉えられ
只 満ち足りたまま
呑まれ 臓腑の奥に溶け
そして死んでいく

仔をつくる真似事などなら判る
だが

命を奪われる苦しみと死を以てして
貴様らは一体 何を求めるのか

本当に 人間というのは可笑しなものだな

だが その命よりも重い血の馨しさは
我らの何よりの糧

こちらもそれなりの心づもりで
丁重に味わわせて頂こう…♡

——ふん

小便まで漏らしている癖に

その震え やはり
恐怖のみのものではないな——



どうした
自分で望んだことではないのか？

舌の先に
子猫のような息遣いと汗の味
鼠のような早鐘が伝わってくるぞ

ほら 暴れるな
この期に及んで
命乞いをするか？

ふふ

この喉の洞に捕まれば
もう後戻りはできない事は
いくらお前のような阿呆でも
身体は判っているものな

安心しろ

出来るだけゆう…っくり
息を詰めないよう
呑み込んでやる

暫しの最期の刻
とくと味わうがいい

——ふん
気を遣ったか

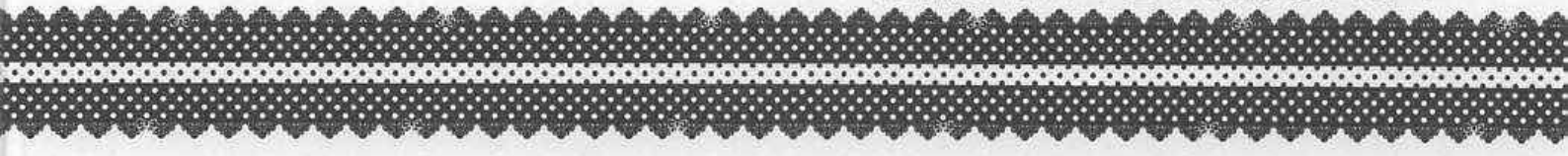
雄というものはまこと他愛もない
こうして 少うし締め付ければ
容易く逝ってしまう…

本当に人間というものは
可笑しなものだなあ…♡



おしおき・すきりん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本



あんどがき

OSHIKURI・SCYLLAN

こんにちは、お久しぶりです。もしくは初めまして。ざわです。

この度は妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本おしきすきゅらんを手に取っていただきありがとうございます。

今作で妖狐変化人外藍様おしき丸呑みシリーズは二作目になりました。

スキュラ藍様は前作のラミア藍様本のプロット当時からあった変化のうちの一つになります。

イメージはザグリードのあのモンスターです。藍様には立派な尻尾が9本もあり

そこに触手を加えるとなるとなかなか兼ね合いが難しく、どちらもそれぞれ

失うには惜しい要素があり、悩んだ挙句、今作の姿に落ち着いた訳ですが、

如何でしたでしょうか。

楽しんでいただけただけの様であれば幸いです。また、今作に登場している少年は前作と同じ少年です。

実は1作目の最後に溶かされてしまっており、流石にまずいと思って妖力ちよっぴり分けて

どうにか魂つなげて現世に存在しているが、あまり藍様から離れると消滅するとかで

仕方なく八雲邸で飼ってるとか

そういう設定も考えていましたが

あんまり気にしないでください。

次の本は……どうしましょう。

人外藍様丸呑み合同誌とかやりたいですね……！

一体参加者は何人集まってくれるのかといった問題は山積みですけれどもね！

どうなるのかまだまだ分かりませんが、また次の本でお会いできたら嬉しいです。では！

YAMADA AIR BASE ざわ

メニモ作らず!!
何しとるかマ!!



ふうっ……はて……？
そういえば私は先程まで
何をしていたんだっただか……？

あ……

SPECIAL THANKS

ゆからんのすけ様 いくたたかのん様 むむむ様
まろーる様 そして読んでくださった皆様

ありがとうございました！

PIXIVへは
こちらでアクセス!



<http://www.pixiv.net/member.php?id=4111038>
更新頻度は低めですが描いたものはこちらに纏めています。
ご感想、コメントお待ちしております。

おしおき・すきりん

妖狐変化スキュラ藍様丸呑み本

発行 2016年 12月 29日 コミックマーケット91 [第1刷発行]

著者 ざわ

サークル YAMADA AIR BASE

印刷・製本: ねこのしっぽ 様

連絡先: coop_sb_5@hotmail.co.jp

twitter: [_ZAW_](#)

※この作品はフィクションです。実在の団体・人物・事件・地名等には一切関係はありません。
※本書の一部、または全部を無断でweb上にアップロードすることはおやめください。

WARNING:

- The producer of this book has not permitted following,
- Reproduction of this book.
- Making of all means of copies of this book.
- Resale of this book.
- This book is done in the scanning and uproad to the Wired network.

The producer of this book prohibits sharing the book by Wired network and the resale.

R-18 For Adult Only

YAMADA AIR BASE



SE